

第2回委員会の主な意見について

資料1

区分	意見概要	対応方向（案）
評価結果の公表の改善について	・記載内容は絞り込んだ方が読みやすい。「目標」は施策名を見れば分かるので不要。さらに、詳しく知りたい人は評価調書を見れば良い。	・記載項目を再検討し、「目標」を削除する。なお、評価調書に連動するようリンクを設定し、閲覧者の利便性の向上を図る。
	・全体的に文字が多い。文章は読みづらいので箇条書きで統一すべき。	・原則、箇条書きとし、可能な限り文字量を減らし読みやすく改善する。
	・文字だけでは分かりにくいので、総合計画と施策の関係をポンチ絵で表すと良い。	・ポンチ絵を作成し、総合計画と施策や施策同士の関係性を一目で分かるよう図示する。
	・「総合評価」を見るとどのような経緯でその判定が導かれているか気になるのではないかと。評価調書の「総合評価」欄にリンクを設定できれば良いのではないかと。	・評価調書に連動するようリンクを設定する。なお、「総合評価」欄が評価調書の後半部分にあり、閲覧者が見つけづらいので、新たにトップページに「総合評価」欄を設けることとする。
評価調書の見直しについて	・「施策のイメージ」図の施策目標が、上段の施策目標と重複しているため削除すべき。	・重複を削除し、それにより生じる余白スペースは「施策のイメージ」欄を拡張して有効活用する。
	・今年度何に取り組んでいるか関心がある道民が多いと思うので、継続の取組とは字体を変えるなど、工夫すべき。	・新規は太字にし、継続と新規の取組が一目で分かるよう、改善する。
	・記載ルールの統一の徹底は、調書作成側に強く意識してもらう必要があるが、どの様に徹底するのか。他県の事例などあるのか。	・他府県の厳密にルール化している事例を参考としながらマニュアルを作成するほか、事務担当者向け説明会を開催し、ルールの徹底を図る。
	・「2 連携の状況」の連携先欄にある施策コードなど、道民から見ても分かりづらい項目が多い。	・公表（HP掲載）時に削除して公開する。
その他	・各施策側（実施機関）のHPにも政策評価HPにリンクを設置すべき。	・一部の実施機関のHPから政策評価へのリンクは設定されているが、徹底されていないため、今後、各実施機関と調整を行う。
	・HP以外に、プレスリリースや広報媒体を積極的に利用すべき。	・評価結果のプレスリリースや道庁ブログ、メルマガなど道の広報媒体の活用について検討する。
	・テーマ（経済政策など）を絞って評価を実施してはどうか。他府県などの事例はないのか。	・テーマを絞って評価を行っている自治体はあるが、道では総合計画等の推進管理上、毎年度、全施策を評価することとしている。
	・成果指標の基準（A100%以上、B90%以上100%未満等）が厳しすぎるため、各部局において成果指標の選定を躊躇するなど、設定に影響は出ているのではないかと。見直し予定はないのか。	・評価の継続性という観点で、平成28年度からこの基準で行っている。